

令和 7 年度

管内概況



海草振興局建設部

目 次

1	建設部の所在地	1
2	管内市町の概要	1
3	建設部概況	2
4	管内土木施設現況	7
	〔管内道路一覧表〕	8
	〔管内河川一覧表〕	10
5	令和7年度事業予算	11
6	主要事業概要	17
	（1）道路事業	17
	（2）街路事業	18
	（3）交通安全事業	19
	（4）無電柱化事業	19
	（5）河川事業	20
	（6）砂防事業	22
7	総務調整業務	25
8	用地業務	26
9	管理業務	27
10	建設業許可業者数	30

1 建設部の所在地

(1) 庁舎の所在地

建設部 和歌山市森小手穂227番地

(2) 工事事務所等の名称及び所在地

海南工事事務所 海南市南赤坂19

紀美野詰所 海草郡紀美野町下佐々1099

2 管内市町の概要

市町村	区分	令和7年1月	令和7年1月	
		面積(km ²)	人口	世帯数
県	計	4,724.66	872,359	395,175
管内	計	438.25	394,857	182,082
和歌山市		208.85	342,650	159,039
海南市		101.06	44,872	19,817
紀美野町		128.34	7,335	3,226

国土地理院ウェブサイト(面積)・および県調査統計課調べをもとに表作成
<https://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MENCHO/backnumber/GSI-menseki20250101.pdf>

当建設部は、県庁所在地である和歌山市と海南市及び海草郡紀美野町の2市1町を所管し、面積では県全体の約9.3%にあたる約438km²、人口では県全体の約45%にあたる約40万人を占めている。

和歌山市は紀の川の河口部に位置しており、徳川御三家のひとつである紀州徳川家が治めていた紀州藩55万5千石の城下町として栄えてきた。

また、海南市は室町時代に起源を持つ紀州漆器（黒江塗）の本場であり、和雑貨などの伝統産業が今なお受け継がれている。

さらに、海草郡紀美野町はススキの草原として関西随一といわれる県立自然公園生石高原をはじめとする豊かな自然を有している。

和歌山市など県北部は瀬戸内海式気候に属し、年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水量も少ない傾向となっている。

管内の交通ネットワークについては、和歌山市を東西に連絡する主要幹線道路として整備を進め、全線4車線の整備が都市計画道路西脇山口線は令和4年3月、都市計画道路南港山東線は令和5年2月に供用したことにより、交通の混雑緩和とともに、歩行者の安全が確保された。また幅員が狭あいで交通の支障となっていた紀伊停車場田井ノ瀬線の南田井ノ瀬橋の架け替えが完了し、令和6年9月に供用を開始した。

3 建設部概況

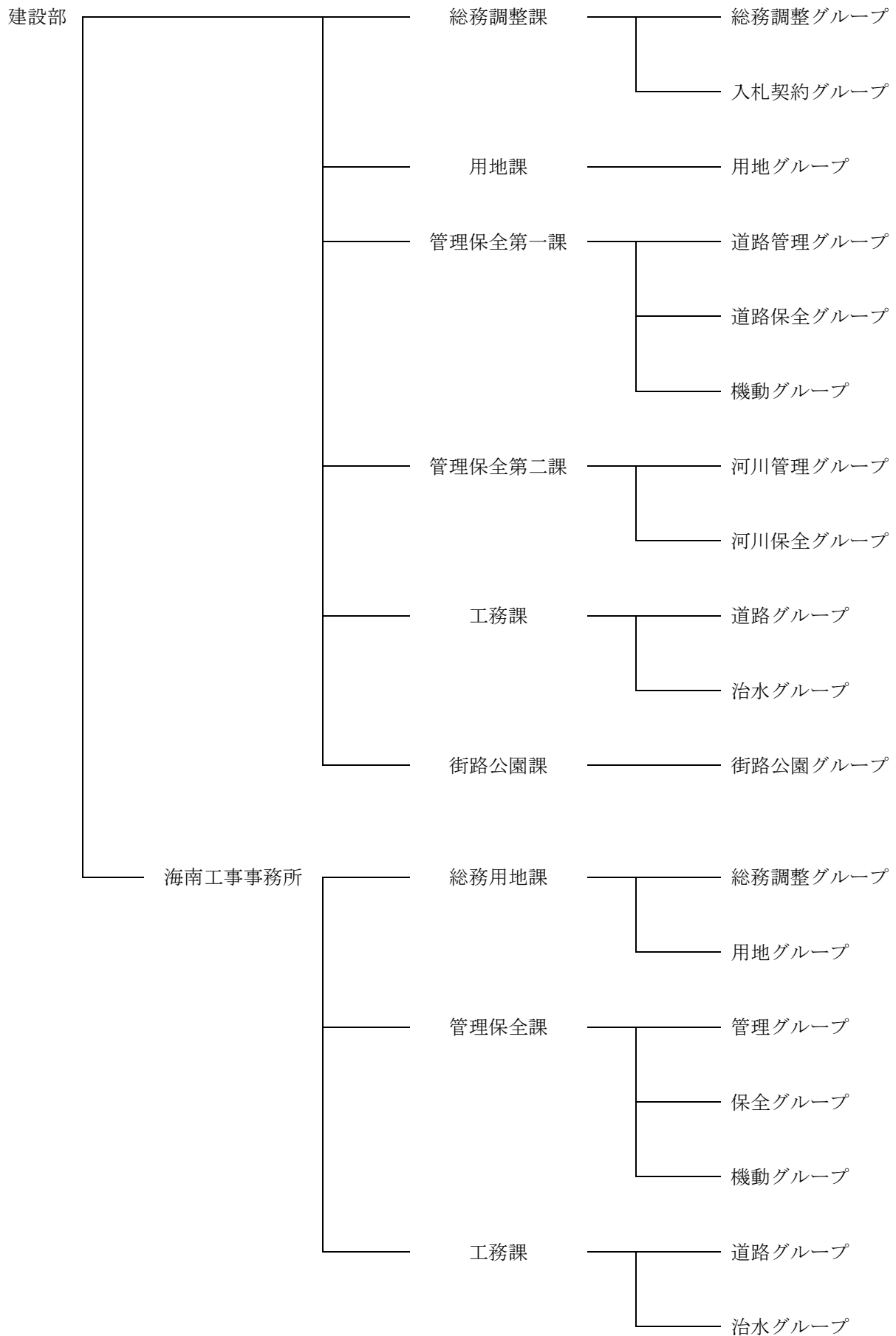
(1) 沿革

昭和 20 年 12 月	和歌山土木出張所として和歌山市手平に設置。
昭和 23 年 5 月	和歌山市小松原通一丁目一番地県庁舎前に木造庁舎が完成し、庶務課、工務課を設置。
昭和 34 年 7 月	工務課を工務第一課、工務第二課に分割し、管理課を設置、各課に主任を配置。
昭和 35 年 7 月	河川監視員を配置。
昭和 41 年 8 月	各課に主査を配置。また河川監理員を配置。
昭和 42 年 3 月	県庁北別館新庁舎に移転し、補修課を設置。
昭和 43 年 8 月	和歌山土木出張所を和歌山土木事務所と改め、工務関係は、和歌山班、海草班に分け班のもとにそれぞれ工務第一課、工務第二課を設置。
昭和 45 年 8 月	用地課を設置。
昭和 48 年 8 月	和歌山班に内川工務課を設置。
昭和 54 年 6 月	和歌山班内川工務課を改め和歌山班工務第三課を設置。
昭和 58 年 6 月	港湾関係事業を和歌山下津港湾事務所へ移管し、和歌山班工務第二課に和歌山班工務第三課を統合。また、総括専門員を配置。
昭和 59 年 2 月	補修課補修係を補修第一係、補修第二係に分割。
昭和 62 年 6 月	庶務課を改め総務課を設置。
	和歌山班、海草班を廃止し、工務主幹（和歌山担当、海草担当）を配置。和歌山班工務第一課を改め和歌山工務第一課を設置、和歌山班工務第二課を改め和歌山工務第二課を設置、海草班工務第一課を改め海草工務第一課を設置、海草班工務第二課を改め海草工務第二課を設置、海草工務第一課第一係、海草工務第一課第二係を道路係に統合。
昭和 63 年 4 月	総務課内に庶務係、工事係、市町指導係を設置し、管理課内に道路係、河川係を設置。和歌山工務第二課内に第一係、第二係、第三係を設置、海草工務第一課内に第一係、第二係を設置。海草工務第二課内に第一係、第二係を設置し、補修課内に補修係、舗装係、機動係、失業対策事業係を設置、また、野上駐在を設置。
平成元年 4 月	和歌山工務第二課内の第三係を第一係と第二係に統合。
平成元年 9 月	補修課内の失業対策事業係を機動係に統合。
平成 2 年 4 月	海草工務第一課内の第二係を第一係に統合、また、海草工務第二課内の第二係を第一係に統合。
平成 2 年 10 月	和歌山市築港一丁目 1 4 の 2 に事務所を移転。
平成 3 年 4 月	補修課を改め道路整備課を設置、また、和歌山工務第一課内に街路係を設置。
平成 4 年 4 月	和歌山工務第一課街路係を改め街路課を設置、また、区画整理事務所廃止に伴い、区画整理課を設置。
平成 5 年 4 月	道路整備課補修係を改め整備係を設置し、区画整理課工務係・換地係を改め換地調整係を設置。
平成 7 年 4 月	海南市名高に鉄道高架・日方川事務所を設置。
平成 8 年 4 月	区画整理課を廃止し、管理課に専門技術員を配置し、区画整理係を設置。
平成 9 年 4 月	企画調査課を設置。また、和歌山工務第一課を改め和歌山道路課を設置、和歌山工務第二課を改め和歌山治水課を設置、海草工務第一課を改め海草道路課を設置、海草工務第二課を改め海草治水課を設置。

平成 10 年 4 月	和歌山土木事務所を海草振興局建設部と改め、和歌山道路課を改め道路課を設置、和歌山治水課を改め治水課を設置、街路課を改め街路公園課を設置。 また、鉄道高架・日方川事務所を廃止し、海南市築地 1 番地 7 に海南工事事務所を設置。海南工事事務所に総務用地課、和歌山土木事務所の海草道路課を改め道路課を設置、海草治水課を改め治水課を設置。
平成 11 年 4 月	海南工事事務所道路課を改め道路建設整備課を設置。
平成 14 年 4 月	総務課に「総務グループ」、企画調査課に「企画調査グループ」、管理課に「道路管理グループ」と「河川管理グループ」、用地課に「用地グループ」、道路整備課に「整備グループ」と「機動担当」、道路課に「道路グループ」、治水課に「治水グループ」、街路公園課に「街路公園グループ」を設置し各グループにグループリーダーを配置。 海南工事事務所に事務次長を配置。海南工事事務所総務用地課を総務課と用地課に分割。 総務課に「総務グループ」、用地課に「用地グループ」、道路建設整備課に「道路建設整備グループ」と治水課に「治水グループ」を設置。
平成 15 年 4 月	海南工事事務所に高速用地課と農林道課を設置。 高速用地課に「高速用地グループ」、農林道課に「農林道グループ」を設置。
平成 17 年 3 月	海南工事事務所を海南市南赤坂 1 9 番地に移転。
平成 18 年 4 月	企画調査課を改め事業調整課を設置、道路課及び治水課を統合し、工務課を設置。事業調整課に「事業調整グループ」、工務課に「道路グループ」と「治水グループ」を設置。 また、海南工事事務所総務課を総務管理課に改め、道路建設整備課、農林道課、治水課の 3 課を統合し、工務課を設置、市町村合併による名称の変更に伴い、「野上駐在」を改め「紀美野駐在」を設置。 総務管理課に「総務グループ」と「管理グループ」、工務課に「道路グループ」と「治水グループ」を設置。
平成 20 年 4 月	海南工事事務所高速用地課を廃止。 県庁検査指導室設置により検査員を廃止。
平成 21 年 4 月	総務課及び事業調整課を統合し、総務調整課を設置。 総務調整課に「総務調整グループ」と「入札契約グループ」を設置。 また、海南工事事務所「用地課」を「総務管理課」に統合。 総務管理課に「総務調整グループ」と「管理グループ」及び「用地グループ」を設置。
平成 25 年 4 月	「紀美野駐在」を廃止。 海南工事事務所工務課に「機動担当」を配置。
平成 27 年 4 月	道路整備課及び海南工事事務所工務課の「機動担当」を改め「機動グループ」を設置。
平成 28 年 4 月	海南工事事務所総務管理課に「有田海南道路用地グループ」を設置。
平成 29 年 4 月	管理課と道路整備課を統合し、管理保全課を設置。管理保全課に「道路管理グループ」、「河川管理グループ」、「保全グループ」及び「機動グループ」を設置。海南工事事務所に管理保全課を設置。総務管理課を総務用地課に変更。海南工事事務所管理保全課に「管理グループ」と「保全グループ」及び「機動グループ」を設置。
令和 2 年 4 月	海南工事事務所総務用地課「有田海南道路用地グループ」を廃止。
令和 2 年 7 月	和歌山市森小手穂 2 2 7 に事務所を新築、移転。

令和 5 年 4 月 管理保全課を管理保全第一課と管理保全第二課に分割
管理保全第一課に「道路管理グループ」、「道路保全グループ」
「機動グループ」を設置。
管理保全第二課に「河川管理グループ」と「河川保全グループ」
を設置。

(2) 機構図



(3) 職員現況表

令和7年4月1日現在

	事務吏員				技術吏員				再任用職員		派遣職員	会計年度任用職員	臨時職員	出向職員	計
	課長級 以上	補佐級(主任)	係長級(主査)	副主査・主事	課長級 以上	補佐級(主任)	係長級(主査)	副主査・技師	事務(副主査)	技術(副主査)					
部長					1										1
副部長	1				1										2
主幹	1														1
総務調整課		2	2	5	1	2			1			2	1		16
用地課	1		1	5					1			2	1		11
管理保全第一課			3	1	1	1	8	3	1	3		1			22
管理保全第二課				4		2		2	1			1			10
工務課						3	2	4				1	1		11
街路公園課						2	1	1					1		5
小 計	3	2	6	15	4	10	11	10	4	3	0	7	4	0	79
海南工事事務所長					1										1
次長	1				1										2
総務用地課		2	1	8					3			3	1	1	19
管理保全課		1		2		3	3	1	1	1			1		13
工務課						5	3	2					1		11
小 計	1	3	1	10	2	8	6	3	4	1	0	3	3	1	46
計	4	5	7	25	6	18	17	13	8	4	0	10	7	1	125
	41				54				12						

4 管内土木施設現況

(令和7年4月1日現在)

(1) 総括

	数	延長	摘要
道路	56	390.2km	国道(指定区間外)2、主要地方道13、一般県道40、一般県道(自転車道)1
河川	39	190.2km	一級河川27、二級河川12
砂防	317		砂防指定地73、地すべり防止区域26 急傾斜地崩壊危険区域222

(2) 道路

	路線数	実延長	改良済		舗装済	
			延長	改良率	延長	舗装率
国道(指定区間外)	2	67.2km	57.6km	85%	67.2km	100%
主要地方道	13	135.9km	116.7km	85%	135.9km	100%
一般県道	40	175.3km	127.1km	72%	172.4km	98%
小計	55	378.4km	301.4km	79%	375.5km	99%
一般県道(自転車道)	1	11.8km			11.8km	100%
計	56	390.2km			387.3km	99%

※1 改良済：車道 5.5m 未満も含む

※2 延長は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計した値と計が一致しない場合があります。

※3 パーセントは小数点以下第1位を切り捨て

(3) 橋梁

	数
国道(指定区間外)	46
主要地方道	116
一般県道	172
計	334

(4) 河川

	河川数	延長	備考
一級河川	27	143.1km	紀の川水系
二級河川	12	47.0km	
計	39	190.2km	

※延長は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計した値と計が一致しない場合があります。

〔 管内道路一覧表 〕

一 般 国 道(指定区間外)

路 線 名	実 延 長(m)	改 良 済				舗 装 済	
		5. 5 m以上	%	5. 5 m未満	%	延長(m)	%
国 道 3 7 0 号	53,349	37,693	71%	7,896	15%	53,349	100%
国 道 4 2 4 号	13,817	11,052	80%	904	7%	13,817	100%
計	67,166	48,745	73%	8,800	13%	67,166	100%

主 要 地 方 道

路 線 名	実 延 長(m)	改 良 済				舗 装 済	
		5. 5 m以上	%	5. 5 m未満	%	延長(m)	%
高 野 口 野 上 線	13,269	3,388	26%	5,661	43%	13,269	100%
粉 河 加 太 線	30,431	27,472	90%	2,791	9%	30,431	100%
岩 出 海 南 線	11,930	6,617	55%	2,555	21%	11,930	100%
岩 出 野 上 線	4,075	3,560	87%	515	13%	4,075	100%
和 歌 山 橋 本 線	15,495	14,820	96%	63	0%	15,495	100%
和 歌 山 打 田 線	8,477	8,325	98%	152	2%	8,477	100%
新 和 歌 浦 梅 原 線	9,818	9,284	95%	534	5%	9,818	100%
和 歌 山 港 線	2,159	2,159	100%	0	0%	2,159	100%
和 歌 山 停 車 場 線	1,954	1,954	100%	0	0%	1,954	100%
海 南 金 屋 線	11,087	6,373	57%	2,674	24%	11,087	100%
美 里 龍 神 線	8,696	522	6%	1,244	14%	8,696	100%
和 歌 山 貝 塚 線	9,522	7,182	75%	1,121	12%	9,522	100%
岬 加 太 港 線	8,938	6,990	78%	694	8%	8,938	100%
計	135,851	98,646	72%	18,004	13%	135,851	100%

一 般 県 道

路 線 名	実 延 長(m)	改 良 済				舗 装 済	
		5. 5 m以上	%	5. 5 m未満	%	延長(m)	%
花 園 美 里 線	3,093	1,627	53%	465	15%	3,093	100%
小 豆 島 岩 出 線	4,459	2,275	51%	1,690	38%	4,459	100%
和 歌 山 海 南 線	15,003	9,017	60%	424	3%	15,003	100%
秋 月 海 南 線	8,316	4,871	59%	1,319	16%	8,316	100%
三 田 海 南 線	4,180	3,692	88%	436	10%	4,180	100%
和 歌 山 野 上 線	16,807	7,822	47%	1,506	9%	16,807	100%
小 豆 島 船 所 線	4,490	1,719	38%	1,142	25%	4,490	100%
善 明 寺 北 島 線	3,411	2,958	87%	420	12%	3,411	100%
有 功 天 王 線	2,880	2,312	80%	568	20%	2,880	100%
三 田 三 葛 線	2,384	1,555	65%	395	17%	2,384	100%

路線名	実延長(m)	改良済				舗装済	
		5.5m以上	%	5.5m未満	%	延長(m)	%
井ノ口秋月線	7,741	5,097	66%	647	8%	7,741	100%
岩橋栗栖線	1,410	1,304	92%	106	8%	1,410	100%
鳴神木広線	1,703	1,533	90%	170	10%	1,703	100%
西脇梅原線	3,219	1,764	55%	1,175	37%	3,219	100%
八軒家鳴神線	1,895	370	20%	265	14%	1,895	100%
和歌山港北島線	3,729	3,729	100%	0	0%	3,729	100%
紀伊停車場田井ノ瀬線	3,520	3,055	87%	379	11%	3,520	100%
紀ノ川停車場平井線	574	443	77%	0	0%	574	100%
新和歌浦線	4,992	4,128	83%	849	17%	4,992	100%
紀ノ川停車場線	1,072	1,039	97%	33	3%	1,072	100%
紀和停車場線	1,223	1,223	100%	0	0%	1,223	100%
紀三井寺線	180	180	100%	0	0%	180	100%
紀三井寺停車場線	51	51	100%	0	0%	51	100%
加太停車場線	52	0	0%	0	0%	52	100%
山東停車場線	112	0	0%	0	0%	112	100%
布施屋停車場線	757	190	25%	48	6%	757	100%
海南吉備線	9,044	648	7%	1,969	22%	6,661	74%
沖野々森小手穂線	9,292	3,978	43%	2,509	27%	9,292	100%
小野田内原線	5,741	4,454	78%	794	14%	5,741	100%
海南港線	136	0	0%	136	100%	136	100%
沓掛糸我線	577	0	0%	0	0%	577	100%
引尾下津線	10,110	2,027	20%	2,667	26%	9,721	96%
興加茂郷停車場線	6,294	4,923	78%	690	11%	6,294	100%
大崎加茂郷停車場線	5,020	1,490	30%	1,085	22%	5,020	100%
下津港下津停車場線	1,364	1,248	91%	116	9%	1,364	100%
奥佐々阪井線	7,663	6,203	81%	669	9%	7,663	100%
野上清水線	10,400	6,359	61%	1,074	10%	10,291	99%
生石公園線	3,195	1,474	46%	114	4%	3,195	100%
木ノ本岬線	1,760	1,098	62%	0	0%	1,760	100%
和歌山阪南線	7,440	6,863	92%	500	7%	7,440	100%
計	175,289	102,719	59%	24,360	14%	172,409	98%

一般県道(自転車道)

路線名	実延長(m)	改良済				舗装済	
		5.5m以上	%	5.5m未満	%	延長(m)	%
紀ノ川自転車道線	11,845	-	-	-	-	11,845	100%
計	11,845	-	-	-	-	11,845	100%

〔 管内河川一覧表 〕

番号	河 川 名	告示延長(m)	番号	河 川 名	告示延長(m)
	(一級河川)			(二級河川)	
1	土 入 川	4, 239	1	清 水 川	500
2	新 堀 川	730	2	阿 振 川	1, 000
3	打 手 川	3, 020	3	堤 川	2, 350
4	七 箇 川	1, 240	4	亀 の 川	12, 849
5	鳴 滝 川	2, 459	5	大 坪 川	1, 200
6	千 手 川	3, 350	6	日 方 川	6, 600
7	高 川	3, 500	7	加 茂 川	10, 380
8	二 王 谷 川	1, 000	8	市 坪 川	2, 640
9	七 瀬 川	4, 270	9	大 窪 川	1, 500
10	住 吉 川	5, 210	10	宮 川	5, 500
11	和 歌 川	12, 100	11	小 島 川	258
	(大門川を含む)		12	小 原 川	2, 270
12	市 堀 川	2, 800	小計	1 2	47, 047
13	真 田 堀 川	1, 100	計	3 9	190, 158
14	有 本 川	1, 650	※住吉川、野田原川、真国川は、那賀振興局 管内の延長を含む。 ※貴志川は、那賀振興局、伊都振興局管内の 延長を含む。		
15	築 地 川	1, 500			
16	水 軒 川	3, 600			
17	津 屋 川	600			
18	和 田 川	8, 700			
19	中 津 川	1, 000			
20	杭 ノ 瀬 川	450			
21	紀 三 井 寺 川	2, 900			
22	貴 志 川	39, 093			
23	野 田 原 川	10, 000			
24	柴 目 川	500			
25	梅 本 川	4, 000			
26	真 国 川	22, 600			
27	桂 川	1, 500			
小計	2 7	143, 111			

5 令和7年度事業予算

(1) 事業費総括

(単位：千円)

	令和7年度当初 (A)	令和6年度当初 (B)	増 減 (A) - (B)	前 年 比 (%) (A) / (B)
道 路 建 設	※ 3,885,000	※ 5,569,000	▲ 1,684,000	69.8
(公共)	※ 3,100,000	※ 4,663,000	▲ 1,563,000	66.5
(単独)	※ 785,000	※ 906,000	▲ 121,000	86.6
道 路 保 全	※ 9,047,780	10,221,754	▲ 1,173,974	88.5
街 路	1,320,000	805,000	515,000	164.0
(公共)	1,190,000	680,000	510,000	175.0
(単独)	130,000	125,000	5,000	104.0
河 川	※ 2,019,250	※ 2,061,985	▲ 42,735	97.9
(公共)	※ 1,874,250	※ 1,916,985	▲ 42,735	97.8
(単独)	145,000	145,000	0	100.0
砂 防	※ 1,093,930	※ 765,700	328,230	142.9
(公共)	※ 1,025,430	※ 697,200	328,230	147.1
(単独)	68,500	68,500	0	100.0
計	※ 8,318,180	※ 9,201,685	▲ 883,505	90.4
(公共)	※ 7,189,680	※ 7,957,185	▲ 767,505	90.4
(単独)	※ 1,128,500	※ 1,244,500	▲ 116,000	90.7

(※他建設部分の事業費も含む)

(2) 事業箇所別調書

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
道路改良事業	4	国道370号(美里4工区)	紀美野町	田～小西	740,000
	11	国道424号(西ヶ峯～上谷拡幅)	有田川町	有原～西ヶ峯	※ 340,000
			海南市	上谷	
	109	紀伊停車場田井ノ瀬線	和歌山市	小豆島～出島	250,000
	110	三田海南線	和歌山市	冬野～本渡	550,000
	111	秋月海南線	海南市	多田～且来	20,000
	112	海南金屋線	海南市	別所～	※ 500,000
			有田川町	上六川	
	113	奥佐々阪井線	紀美野町	下佐々～	200,000
			海南市	木津	
	114	野上清水線	紀美野町	梅本～坂本	500,000
(計)					※ (3,100,000)
地方特定道路整備事業	7	三田海南線	和歌山市	冬野～本渡	30,000
	8	紀伊停車場田井ノ瀬線	和歌山市	小豆島～出島	20,000
	9	秋月海南線	和歌山市	和田～	15,000
			海南市	且来	
	10	海南金屋線	海南市	別所～	※ 135,000
			有田川町	上六川	
	11	引尾下津線	海南市	下津町大窪～下津町小畑	47,000
	12	興加茂郷停車場線	海南市	下津町興～下津町曾根田	30,000
	13	奥佐々阪井線	紀美野町	下佐々～	135,000
			海南市	木津	
	14	野上清水線	紀美野町	梅本～坂本	50,000
(計)					※ (462,000)

(※他建設部分の事業費も含む)

(単位：千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
小規模道路改良事業	301	岩出海南線	和歌山市	平尾	21,000
	351	和歌山野上線	海南市	野尻	90,000
	352	海南吉備線	海南市	下津町百垣内	8,000
	353	沖野々森小手穂線	海南市	小野田	5,000
	354	引尾下津線	海南市	下津町大窪～下津町小畑	50,000
	355	大崎加茂郷停車場線	海南市	下津町大崎～下津町丸田	55,000
	356	高野口野上線	紀美野町	養垣内～釜滝	10,000
	357	美里龍神線	紀美野町	箕六	30,000
	902	国道370号	紀美野町	福田～毛原下	30,000
	951	粉河加太線	和歌山市	直川～谷	5,000
	952	海南金屋線	海南市	別所～扱沢	10,000
	953	奥佐々阪井線	海南市	九品寺～木津	9,000
(計)					(323,000)

(単位：千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
公共街路事業	1	岡田大野中線	海南市	岡田	1,150,000
	2	黒江線	海南市	黒江	40,000
(計)					(1,190,000)
地方特定道路整備 (街路)事業	1	南港山東線	和歌山市	西浜三丁目～関戸一丁目	50,000
	2	岡田大野中線	海南市	岡田	30,000
	3	黒江線	海南市	黒江	50,000
(計)					(130,000)

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
道路保全事業	101	新和歌浦梅原線外	和歌山市外		※ 1,818,300
	201	和歌山海南線外	和歌山市外		※ 250,800
	401	県内一円			※ 193,325
	501	和歌山海南線外	和歌山市外		※ 719,031
	901	国道168号外	新宮市外		※ 4,021,797
	903	国道168号外	新宮市外		※ 2,044,527
(計)					※ (9,047,780)

(※他建設部分の事業費も含む)

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
河川整備事業 (広域河川改修)	106	大門川	和歌山市	納定～中之島	52,500
	107	土入川	和歌山市	松江東四丁目～土入	42,000
	110	貴志川	海南市	原野～野上中	84,000
	201	和田川	和歌山市	坂田～伊太祁曽	157,500
(計)					(336,000)
河川整備事業 (総合流域防災)	202	亀の川	和歌山市	紀三井寺～内原	42,000
(計)					(42,000)
河川整備事業 (地震・高潮対策)	108	和歌川	和歌山市	和歌浦中三丁目	10,500
	109	和歌川	和歌山市	小雑賀、布引～紀三井寺	31,500
(計)					(42,000)
大規模特定河川事業	402	七瀬川	和歌山市	宇田森～北野	252,000
	403	亀の川	和歌山市	紀三井寺～内原	315,000
	404	日方川	海南市	日方	315,000
	405	加茂川	海南市	下津町方～下津町丸田	362,250
(計)					(1,244,250)
河川メンテ事業 (長寿命化対策)	601	県下一円			※ 126,000
(計)					※ (126,000)

(※他建設部分の事業費も含む)

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
河川整備事業 (かわまちづくり)	801	市堀川	和歌山市	湊本町三丁目～新雑賀町	84,000
(計)					(84,000)
堤防改修事業	301	和歌川	和歌山市	宇須四丁目	40,000
	302	大坪川	和歌山市	冬野	25,000
			海南市	黒江	
	303	加茂川	海南市	下津町橘本	60,000
	304	亀の川	海南市	且来	20,000
(計)					(145,000)

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
通常砂防事業	9	鳴神大谷	和歌山市	鳴神	31,500
	10	西手谷川	海南市	次ヶ谷	21,000
	11	亀の川右支溪	海南市	次ヶ谷	21,000
	12	飯盛川	海南市	冷水	10,500
	13	藤白川右支溪	海南市	藤白	42,000
	86	紀の川圏域	紀の川市外		※ 619,500
(計)					※ (745,500)
地すべり対策事業	203	上出	海南市	下津町引尾	10,500
	204	橘本	海南市	下津町橘本	42,000
	205	上谷2	海南市	ひや水	21,000
	206	梅本	紀美野町	梅本	13,650
(計)					(87,150)

(※他建設部分の事業費も含む)

(単位 : 千円)

事業名	番号	箇所名	市町村	字	事業費(当初)
急傾斜地崩壊対策事業	7	寺内 2	和歌山市	寺内外	31,500
	8	木ノ本	和歌山市	木ノ本外	31,500
	9	三葛 4	和歌山市	三葛	21,000
	10	滝畑	和歌山市	滝畑	5,250
	11	東高松	和歌山市	東高松四丁目	21,000
	12	重根 9	海南市	重根	40,530
	13	重根 1 2	海南市	重根外	21,000
	14	下出	海南市	下津町引尾	21,000
	(計)				(192,780)
小規模 土砂災害対策事業	8	府中 4	和歌山市	府中	6,000
	9	大浦 2	和歌山市	西浜	6,000
	10	直川	和歌山市	直川	5,000
	11	園部 2	和歌山市	園部	5,000
	12	矢田	和歌山市	矢田	5,000
	13	関戸	和歌山市	関戸二丁目	3,000
	14	永山	和歌山市	永山	5,000
	15	重根 2	海南市	重根	5,000
	16	引尾 1 0	海南市	下津町引尾	10,000
	17	柴目 2 1 6	紀美野町	柴目	6,000
	18	松ヶ峯 2 0 1	紀美野町	松ヶ峯	6,000
	19	芝崎	紀美野町	動木	6,500
	(計)				(68,500)

6 主要事業概要

(1) 道路事業

① ^{き い て い し ゃ じ ょ う た い の せ せ ん}紀伊停車場田井ノ瀬線（和歌山市 ^{あ ず し ま で じ ま}小豆島～出島）

本路線は紀の川を挟む和歌山市の北部地域と南部地域を繋ぐ路線であり、地域の生活や産業活性化に必要な不可欠な道路である。

紀の川の中州から左岸に渡河する南田井ノ瀬橋は、供用後71年が経過しており、著しい老朽化に加え幅員狭小による車両規制も行なわれていることから、安全かつ円滑な交通確保を目的に、平成28年度から架替事業に着手し、令和6年9月に供用を開始した。令和7年度は旧橋の撤去工事を進める。



【写真 南田井ノ瀬橋
（和歌山市出島）】

② ^{こ く ど う}国道370号（海草郡紀美野町 ^{ご う}田～^{た こ に し}小西）

本路線は海南市船尾を起点とし、海草郡紀美野町を経て伊都郡高野町へと繋がる主要な幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている。そのうち紀美野町域において、田から小西までの2.7km間（美里4工区）について、平成26年度に事業着手し、令和6年度までに1.9km区間を部分供用している。

令和7年度は引き続き工事を進める。



【写真 上：令和6年12月供用区間（海草郡紀美野町田）】

【写真 下：路側工事実施箇所（海草郡紀美野町毛原下）】

③ ^{こ く ど う}国道424号（海南市 ^{ご う}上谷）^{か み だ に}

本路線は田辺市を起点とし、海南市の東部を南北に縦貫し紀の川市に至る主要な幹線道路である。海南市上谷地内の1.9km区間については、幅員が狭小かつ線形不良のため車両のすれ違いが困難なことから、平成20年度に事業着手し、令和6年度までに0.9km区間を供用している。

令和7年度は用地取得及び工事を進める。



【写真 国道424号（海南市上谷）】

④ ^{さん たかいなんせん}三田海南線（和歌山市 ^{ふゆの もとわたり}冬野～本渡）

本路線は和歌山市内から海南市内へ繋がる一般県道である。そのうち、和歌山市冬野から本渡については、朝夕の交通渋滞や、歩道の幅員も狭いため歩行者等が危険な状況にあることから、令和元年度に事業着手し、バイパス工事を進めている。令和7年度は用地取得及び工事を進める。

⑤ ^{のかみしみずせん}野上清水線（海草郡紀美野町 ^{うめもと さかもと}梅本～坂本）

本路線は海草郡紀美野町の国道370号から有田郡有田川町に至る一般県道であり、生石高原県立自然公園への観光ルートとしてだけでなく地域の生活道路として重要な路線である。

幅員が狭小かつ線形不良のため車両のすれ違いが困難であることから、平成24年度に事業着手し、2.6km区間の現道拡幅を進めている。

令和7年度は引き続き工事を進める。



【写真 野上清水線
（紀美野町梅本）】

⑥ ^{かいなんかなやせん}海南金屋線（海南市 ^{べっしょ ぐみざわ}別所～扱沢）

本路線は海南市の国道370号から有田郡有田川町の国道480号に至る主要な幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている。幅員の狭小及び線形不良を解消し、広域幹線道路としての機能の確保及び地域の生活道路としての安全性の確保を目的として平成23年度に事業着手し、別所から扱沢までの2.8km間のバイパス工事を進めている。

令和7年3月に鏡石トンネル本体工事が完了したところであり、令和7年度は残る区間の工事を進める。



【写真上：別所橋から有田川町方面を望む（海南市別所）】

【写真下：鏡石トンネル坑口（海南市別所）】

（2）街路事業

① ^{くろえせん}黒江線（海南市 ^{くろえ}黒江）

本路線は、国道42号と並行し和歌山市から海南市街へ通じる県道岩出海南線と重複する都市計画道路である。この路線は、和歌山市と海南市を行きかう交通により、朝夕の交通渋滞が発生するとともに自歩道が無いことから通勤通学の歩行者・自転車とが混在し危険な状況となっている。

そのため、県道和歌山海南線との交差点から黒江駅方面の0.5km間について令和2年度に事業着手した。令和7年度は用地取得及び工事を進める。

② ^{おかだ おおの なかせん} 岡田大野中線 (海南市 ^{おかだ} 岡田)

本路線は、和歌山市域から順次整備が進む都市計画道路 松島本渡線の南進部に位置し、国道370号までを結ぶ都市計画道路であり、国道42号と並行して和歌山市内から海南市内へとアクセスする幹線道路として整備を進めている。

海南市内の全長約2.6kmのうち和歌山市境～県道海南金屋線までの区間について令和2年度に事業着手した。事業区間のうち和歌山市境～県道岩出海南線の0.7km間について優先して整備を進めており、令和7年度は用地取得及び工事を進める。

(3) 交通安全事業

死傷事故の再現性が高い箇所や、通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所を中心に歩道整備や交差点改良等を実施するなど、交通安全対策を推進している。

令和7年度は、和歌山市内では新和歌浦梅原線、和歌山野上線及び西脇梅原線等において用地取得及び工事を進める。

また、海南市内では国道424号、興加茂郷停車場線および小野田内原線において、さらに海草郡紀美野町内では国道370号と岩出野上線において必要な測量・設計、用地取得及び工事を進める。

(4) 無電柱化事業

安全で快適な通行空間、都市景観の向上や都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上を図るため、粉河加太線、和歌山橋本線、和歌山海南線、鳴神木広線及び国道370号において無電柱化を推進している。

令和7年度は、国道370号、粉河加太線及び和歌山海南線で管路整備工事を進め、その他の路線では詳細設計を進める。

整備前



整備後



【写真 和歌山野上線 (和歌山市田中町)】

(5) 河川事業

【 河川整備事業（広域河川改修） 】

① ^{わ か がわ} 和歌川（^{だいもんがわ} 大門川）（和歌山市 ^{のうじょう なかのしま} 納定～中之島）

和歌川は和歌山市内を南北に流れ、これにつながる大門川、真田堀川、有本川、市堀川、和田川、築地川、水軒川、紀三井寺川、中津川、津屋川及び杭ノ瀬川の 11 支派川からなる一級河川であり、和歌浦湾及び和歌山下津港に流入する感潮河川である。

大門川工区については、和歌川分派点から J R 橋付近までの 1.3 km 間の河床掘削が平成 27 年度末に完了、J R 橋の橋脚補強工事と近接する護岸工事は、令和 3 年度に完成した。

令和 7 年度は引き続き市道橋の橋脚補強工事及び護岸工事を進める。

また、水質浄化対策として昭和 44 年からヘドロの浚渫、昭和 54 年からは和歌川ポンプ場による浄化用水導水を行い、水質改善に取り組んでいる。

② ^{わだ がわ} 和田川（和歌山市 ^{さかた いだきそ} 坂田～伊太祈曾）

和田川では和歌川合流点から上流 7.2 km 間の河川改修事業に着手しており、合流点から上流 4.2 km 間については平成 25 年度から平成 29 年度の床上浸水対策特別緊急事業により概成している。

平成 30 年度からは引き続き交付金事業により護岸工事を進めており、令和 7 年度は根固工及び護岸工事を進める。



【写真：和田川（和歌山市吉礼）】

③ ^{どうにゅうがわ} 土入川（和歌山市 ^{まつえ ひがしよんちようめ どうにゅう} 松江東四丁目～土入）

土入川は、紀の川合流点から上流 3.5 km 間、支川である打手川は、土入川合流点から上流 2.4 km 間の河川改修事業に着手している。

平成 27 年度から土入川本川の浚渫工事を進めており、令和 7 年度は南海橋梁の橋脚補強工事を進める。また、平成 26 年度には土入川の紀の川合流部付近に船舶収容施設が完成し、土入川内の不法係留船舶を一掃した。

④ ^{き し がわ} 貴志川（海南市 ^{はらの の かみなか} 原野～野上中）

貴志川では昭和 28 年 7 月洪水で大きな被害を受けたため、国直轄事業により紀の川合流点から上流 6.0 km 区間の工事が行われている。なお昭和 39 年の河川法改正に伴い、紀の川本川が国管理の一級河川に指定され、当該区間も国管理となっている。

上流の県管理区間では、段階的な整備を行うこととし、近年最大である平成 23 年 9 月の出水と同規模の洪水に対して家屋浸水被害が生じることのないよう平成 29 年に紀の川水系貴志川圏域河川整備計画を策定し、河川整備に着手した。

令和 7 年度は、引き続き用地取得及び護岸整備を進める。

【大規模特定河川事業】

① ななせがわ 七瀬川 (和歌山市 うだもり 宇田森～きたの 北野)

七瀬川は、平成6年度に紀の川合流点より上流2.7km間を事業化し、紀の川合流点から鴨居川合流点までの1.7km間が令和3年度に完成した。

令和7年度は引き続き上流の河道整備等を進める。



【写真：七瀬川（和歌山市宇田森）】

② かめのがわ 亀の川 (和歌山市 きみいでら 紀三井寺～うちばら 内原)

亀の川は、昭和40年度に河口から4.8km間を事業着手し、令和6年度までに下流1.0km区間の護岸整備が完了している。

なお、令和5年6月豪雨による大規模な浸水被害を受け、河川整備計画の見直しを令和6年度に実施した。

令和7年度は引き続き河床掘削、護岸整備及び中橋の旧橋撤去工事を進める。



【写真：亀の川（和歌山市内原・紀三井寺）】

③ ひかたがわ 日方川 (海南市 ひかた 日方)

昭和63年度に中小河川改修事業として着手し、平成3年度からは新町橋から上流0.9km間の河川整備に伴い、井松原橋、東橋の架け替えを進めてきた。令和2年度からは大規模特定河川事業を活用することにより、令和3年度には下橋、令和4年度には大橋の架け替えが完了するなど、事業の一層の進捗を図ってきた。なお、令和5年6月豪雨による大規模な浸水被害を受け、河川整備計画の見直しを令和6年度に実施した。

令和7年度は引き続き新町橋の架け替え工事及び河道掘削を進める。



【写真：日方川（海南市日方）】

④ かもがわ 加茂川 (海南市 しもつちようかた 下津町方～しもつちようまるた 下津町丸田)

平成14年度に硯大橋より上流0.4km間について、河川高潮対策事業に着手しており、令和3年度に支川宮川の排水機場が完成し令和4年9月より運用を開始した。

令和6年度からは大規模特定河川事業を活用し、一層の事業進捗を図ることとした。

令和7年度は引き続き前川橋の架け替え工事及び護岸整備を進める。



【写真：加茂川（海南市下津町方）】

【 河川整備事業（地震・高潮対策） 】

① ^{わ か がわ}和歌川（和歌山市 ^{わ か うらなさんちようめ}和歌浦中三丁目・^{こ ざ い か}小雑賀・^{ぬのひき}布引～^{き み い で ら}紀三井寺）

平成18年度から水門施設等の遠隔操作化及び和歌川ポンプ場から下流部の支川も含めた堤防の
上げ工事に着手しており、令和7年度は引き続き津屋川排水機場水門の耐震対策工事及び和歌川、紀
三井寺川 の堤防嵩上げ工事を進める。

【 河川整備事業（かわまちづくり） 】

① ^{いちほりかわ}市堀川（和歌山市 ^{みなとほんちようさんちようめ}湊本町三丁目～^{しんさいかまち}新雑賀町）

市堀川周辺において、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すべく、和歌山市が推
進主体となり、国土交通省の「かわまちづくり」支援制度に令和5年度に、「市堀川かわまちづくり
計画」が登録された。この取組に必要な河川管理施設の整備を行うべく、令和7年度は河川管理道の
整備に着手する。

（6）砂防事業

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害を未然に防止するため、砂防堰堤やがけ崩れ対策のた
めの擁壁工といった土砂災害防止施設の整備（ハード対策）を推進する。

【 通常砂防事業 】

① ^{なるかみおおたに}鳴神大谷（和歌山市 ^{なるかみ}鳴神）

和歌山市鳴神地内において、令和4年度に事業に着手した。令和7年度は引き続き砂防堰堤工事を
進める。

② ^{にしてたにかわ}西手谷川（海南市 ^{つげだに}次ヶ谷） ^{かめのがわみぎしけい}亀の川右支溪（海南市 ^{つげだに}次ヶ谷）

海南市次ヶ谷地内において、令和3年度に事業着手した。令和7年度は管理用道路及び砂防堰堤工
事を進める。

③ ^{いいもりがわ}飯盛川（海南市 ^{しみず}冷水）

海南市冷水地内において、令和4年度に事業着手した。令和7年度は用地取得を進める。

④ ^{ふじしろがわみぎしけい}藤白川右支溪（海南市 ^{ふじしろ}藤白）

海南市藤白地内において、令和5年度に事業着手した。令和7年度は管理用道路及び砂防堰堤工
事を進める。

【 地すべり対策事業 】

① ^{かみ で}上出地区 (海南市 ^{しもつちようひきお}下津町引尾)

海南市下津町引尾地内において、平成 29 年度に事業着手した。
令和 7 年度は引き続き調査を進める。

② ^{きつもと}橋本地区 (海南市 ^{しもつちようきつもと}下津町橋本)

海南市下津町橋本地内において、令和元年度に事業着手した。
令和 7 年度は用地取得及び対策工事を進める。



【写真：上出地区 ^{かいなんししもつちようひきお}(海南市下津町引尾)】

③ ^{かみだに}上谷 2 地区 (海南市 ^{かいなんし}ひや水 ^{みず})

海南市ひや水地内において、令和 4 年度に事業着手し、令和 7 年度は引き続き調査・設計を進める。

④ ^{うめもと}梅本地区 (紀美野町 ^{うめもと}梅本)

紀美野町梅本地内において、平成 31 年に事業着手し、令和 7 年度は用地取得及び対策工事を進める。

【 急傾斜崩壊対策事業 】

① ^{てらうち}寺内 2 (和歌山市 ^{てらうち}寺内)

和歌山市寺内地内において、令和 3 年度に事業に着手した。令和 7 年度は引き続き対策工事を進める。

② ^{きのもと}木ノ本 (和歌山市 ^{きのもと}木ノ本)

和歌山市木ノ本地内において、令和 4 年度に事業に着手した。令和 7 年度は引き続き対策工事を進める。

③ ^{み かづら}三 葛 4 (和歌山市 ^{み かづら}三 葛)

和歌山市三葛地内において、令和 5 年度に事業に着手した。令和 7 年度は対策工事に着手する。

④ ^{たきはた}滝畑 (和歌山市 ^{たきはた}滝畑)

和歌山市滝畑地内において、令和 5 年度に事業に着手した。令和 7 年度は対策工事に着手する。

⑤ ^{ひがしたかまつ}東 高松 (和歌山市 ^{ひがしたかまつ}東 高松)

和歌山市東高松地内において、令和 6 年度に事業に着手した。令和 7 年度は調査・設計を進める。

⑥ ^{しこね}重根 9 地区 (海南市 ^{しこね}重根)

海南市重根地内において、令和 4 年度に事業着手した。令和 7 年度は引き続き対策工事を進める。

⑦ ^{しこね}重根 1 2 地区 (海南市 ^{しこね}重根)

海南市重根地内において、令和 6 年度に事業着手した。令和 7 年度は調査設計を進める。

⑧ ^{しもで}下出地区 (海南市 ^{しもつちうひきお}下津町引尾)

海南市下津町引尾地内において、令和 6 年度に事業着手した。令和 7 年度は調査設計を進める。

7 総務調整業務

(1) 建設部に属する事務についての調整

- 1) 公共事業プロジェクトに関する調整
- 2) 建設部における地震時また平常時の危機管理マニュアルの作成及び訓練
- 3) 不良不適格業者の排除、新分野進出などの建設業構造改革に関する調査
- 4) 工事現場の適正な施工体制の確立に関するパトロール
- 5) コスト縮減に関する調査
- 6) 県産品の活用促進に関する調査
- 7) 建設発生土に関する調査
- 8) 建設リサイクル法に関するパトロール及び事務手続き

(2) 事業進行管理

建設部における公共事業の効率的な執行を図るため、全般的な事業の進行管理を行う。

(3) 技術職員の能力向上支援

建設部職員の技術力向上を目的とした効果的な現場研修などについて、企画、立案から実施をする。

(4) 市町事業の指導・監督

市町に、事業に係る補助金申請から出来高認定について指導を行うなど、補助、災害復旧事業の適正執行を促す。

8 用 地 業 務

公共用地の取得及びこれらに伴う損失補償に関する事務は、関係者の権利・義務に多大な影響を及ぼすものであり、その公正で適正な執行が求められる。

また、最近は土地に係る権利等も複雑化するとともに、関係者の権利意識の高まりにより、公共用地の取得、損失補償に係る事務も複雑・多様化している。

特に、当建設部では土地利用密度の高い地域の用地取得が大きなウェイトを占め、用地取得に伴う大型物件を含む補償件数も多数あることから、事務が一層複雑となっている。

公共用地の取得を円滑に進め、適正な補償を実施するため、さらには県民への説明責任を果たせるよう、担当職員の幅広い知識の習得と専門的な事務処理能力の向上に努め、用地取得業務の推進に取り組んでいる。

用 地 取 得 及 び 物 件 補 償 状 況

(単位：千円)

区分 年度	用 地 費		物 件 補 償 費		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
平成13年	232	3, 444, 049	583	2, 371, 747	815	5, 815, 796
平成14年	322	4, 365, 192	856	3, 757, 347	1, 178	8, 122, 538
平成15年	344	3, 169, 553	811	2, 917, 671	1, 155	6, 087, 224
平成16年	270	2, 560, 011	795	2, 399, 621	1, 065	4, 959, 632
平成17年	198	2, 062, 562	551	1, 896, 294	749	3, 958, 856
平成18年	249	2, 200, 729	599	1, 937, 271	848	4, 138, 000
平成19年	269	2, 029, 674	798	2, 975, 441	1, 067	5, 005, 115
平成20年	416	2, 493, 652	904	2, 600, 045	1, 320	5, 093, 697
平成21年	390	3, 764, 207	887	3, 413, 977	1, 277	7, 178, 184
平成22年	444	4, 093, 203	1,372	6, 462, 637	1, 816	10, 555, 840
平成23年	307	2, 673, 410	677	3, 146, 150	984	5, 819, 561
平成24年	326	2, 290, 360	659	2, 171, 827	985	4, 462, 187
平成25年	205	1, 479, 254	362	1, 858, 282	567	3, 337, 536
平成26年	319	1, 882, 826	555	1, 978, 259	874	3, 861, 085
平成27年	390	2, 182, 823	617	2, 421, 768	1, 007	4, 604, 591
平成28年	462	2, 484, 361	589	2, 103, 591	1, 051	4, 587, 953
平成29年	354	2, 266, 975	787	2, 461, 842	1, 141	4, 728, 817
平成30年	275	1, 875, 355	1,237	4, 807, 874	1, 512	6, 683, 229
令和元年	225	1, 121, 933	1,351	4, 927, 373	1, 576	6, 049, 306
令和2年	177	621, 688	573	1, 949, 611	750	2, 571, 299
令和3年	163	551, 851	554	2, 334, 474	717	2, 886, 325
令和4年	150	430, 424	555	2, 059, 884	705	2, 490, 308
令和5年	193	470, 000	459	1, 871, 101	652	2, 341, 101
令和6年	128	548, 479	366	1, 965, 354	494	2, 513, 833

9 管 理 業 務

(1) 道路管理

道路管理業務は道路区域の決定及び変更、供用の開始及び廃止、道路占用及び占用に伴う掘削等工事の許可、道路管理者以外の者が行う道路工事の承認、官民境界確定等の財産管理、通行規制等多岐にわたっている。

近年交通量の増加に伴って道路の傷みも激しいため、常に道路パトロールを行い早期の維持修繕に対応することが重要であり、また、道路に関する妨害の排除も安全な通行の確保のためには欠かせない業務である。

また、占用関係については生活の多様化に伴い、上下水道、電気、ガス、電話等の道路敷を利用したインフラ整備が盛んに行われている状況にあり、同一箇所において複数の道路掘削が行われないう、「道路掘り返し規制連絡協議会」を通じて関係機関に協力を求めるとともに、工事期間中の安全確保や適正復旧を指導している。

なお、道路占用許可等件数は以下のとおりである。

道路占用許可等件数の推移

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
道 路 占 用 許 可	396(114)	363(125)	352(107)	422(99)	574(108)	575(92)	357(51)	577(94)	443(87)	225(118)	284(74)
掘 削 工 事 許 可	246(52)	201(66)	194(56)	221(53)	146(43)	216(51)	182(42)	149(36)	111(46)	110(42)	114(27)
道路工事施行承認	122(16)	61(11)	49(9)	61(13)	81(9)	69(10)	63(10)	61(12)	42(15)	55(10)	53(5)
官 民 境 界 確 定	47(7)	56(15)	42(13)	76(13)	37(11)	46(19)	45(8)	30(3)	30(3)	22(7)	23(8)

※()内は、うち海南工事事務所処理件数

道 路 愛 護 団 体

令和 7 年 4 月時点

会 の 名 称	代 表 者	会員数(人)	設立年月日	対象路線
別所道路愛護会	南 方 正 幸	7 5	昭和 2 6 年 5 月 3 1 日	海南金屋線
海南市野上地区 //	田 中 修 子	1, 4 1 2	昭和 5 4 年 7 月 2 4 日	国道 3 7 0 号、国道 4 2 4 号、奥佐々阪井線、和歌山野上線、岩出野上線
扱 沢 //	畠 中 照 夫	1 6	昭和 6 1 年 4 月 1 日	海南金屋線
岡大谷地区 //	古 岡 茂 樹	9 0	平成 1 2 年 4 月 1 日	海南金屋線
杳 掛 //	西 本 勝	1 6	昭和 4 3 年 7 月 1 日	引尾下津線
大 窪 //	中 下 英 昭	7	昭和 4 3 年 7 月 5 日	引尾下津線
小 畑 区 //	竹 本 卓 司	6 1	昭和 4 2 年 4 月 1 日	引尾下津線
紀美野町 //	宮 下 和 久	1, 5 0 4	昭和 5 9 年 7 月 1 日	国道 3 7 0 号、岩出野上線、高野口野上線
計	8 団 体	3, 1 8 1		

(2) 河川・海岸管理

河川・海岸管理業務は水防に関すること、占用及び使用許可に関すること、水質の保全に関する
こと、河川の愛護奨励に関することなど多岐にわたっている。

水防に関することについては、管内の水防上必要な監視・警報・通信連絡・水門等の操作により、
水防団等との相互協力を行っている。

占用及び使用許可に関することについては、管理区域の適正かつ安全な利用のため、災害の発生
の防止、流水の正常な機能の維持及び環境の保全等、総合的に管理する必要があることから、集中
豪雨（梅雨）、台風等洪水が起きやすい時期の河川工事を控えるよう指導する等、一定の基準を設
けた上で許可を行っている。

水質の保全に関することについては、内川（和歌川、大門川、真田堀川、有本川、市堀川の5河
川の総称）の水質改善対策を行っており、国土交通省では紀の川から、和歌山県では和歌浦湾から
導水を行っている。特に、大門川の水質改善のため、令和2年度から令和8年度末までの間、農業
用水路を利用した導水を国土交通省・和歌山県・和歌山市の連携により実施している。



水防や水質改善を担う和歌川ポンプ場

河川占用許可等件数の推移

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
河川占用許可	113(35)	138(24)	121(38)	113(24)	118(31)
盛土、掘削等土地の形状変更	5(1)	2(0)	2(2)	7(0)	8(1)
土砂、砂利採取等	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
官民境界確定	15(0)	12(2)	16(5)	8(0)	7(0)

※()内は、海南工事事務所処理件数を再掲

河川愛護会設立状況一覧表(海草振興局管内)

令和7年4月時点

番号	名 称	代表者氏名	会員数	設立年月日	対象河川
1	大野地区 道路河川愛護会	平 木 崇 士	2, 1 0 0	昭和43年4月1日	日方川
2	日方川河川愛護会	中 野 昌 臣	1, 5 0 0	昭和43年4月1日	日方川
3	小原地区小原川愛護会	藤 原 泰 久	1 5 0	昭和51年1月1日	小原川
4	中地区河川愛護会	土 井 英 和	1 7 0	昭和53年1月1日	小原川
5	小南河川愛護会	池 崎 治 男	1 0 0	昭和53年9月1日	小原川
6	下出地区加茂川愛護会	瀧 端 春 次	4 0	昭和56年7月1日	加茂川
7	貴志川・亀の川・ 野田原川愛護会	小 玉 美津雄	2, 2 5 0	昭和54年7月24日	貴志川・亀の川・ 野田原川
8	小畑地区 宮川堤防愛護会	竹 本 卓 司	7 0	昭和59年1月17日	宮川
9	橋本地区 加茂川・市坪川愛護会	土 井 晃	1 2 0	昭和61年9月1日	加茂川・市坪川
10	市坪地区 市坪川・大窪川愛護会	森 本 明 準	9 0	昭和61年10月1日	市坪川・大窪川
11	亀の川河川愛護会	辻 宗 男	2, 0 0 0	昭和63年7月24日	亀の川
12	和田川伊太祈曽地区河川愛護会	大 谷 秀 之	1 6 5	昭和63年9月1日	和田川
13	和歌山市内川美化推進会 北支部	片 邊 義 治	2 6, 7 8 0	昭和63年4月1日	有本川・大門川・ 真田堀川・市堀川
14	和歌山市内川美化推進会 南支部	林 紀 生	1 8, 1 1 0	昭和63年4月1日	和歌川
15	直川河川愛護会	嶋 雅 男	8 3	平成元年11月1日	千手川
16	美里河川愛護会	木 元 伸 彦	1 8 0	平成3年11月26日	貴志川
17	リバーサイドフェスティバル実行委員会	寺 本 正 樹	5 0	平成3年4月1日	貴志川
18	東地区小原川 河川愛護会	玉 井 泰 広	7 0	平成14年4月1日	小原川
19	曾根田河川愛護会	中 川 真 吾	5 0	平成18年3月15日	加茂川
20	大東ふれ愛プラザ方方	小 山 良	4 0	令和元年9月17日	加茂川
21	方南区宮川河川愛護会	奈良岡 鉄也	3 0	令和3年10月1日	宮川
計	21団体		5 4, 1 5 3		

1 0 建設業許可業者数

令和7年4月末現在

市町村 区分	和歌山市	海 南 市	紀美野町	計
知事許可	1, 6 8 8	2 0 5	6 2	1, 9 5 5
大臣許可	2 8	2	1	3 1
計	1, 7 2 6	2 0 7	6 3	1, 9 9 6



(写真 庁舎上空より撮影)

海草振興局建設部

〒640-8312 和歌山市森小手穂227番地

電話.073-488-7876 (代表) Fax.073-488-5182

建設部 直通電話 市外局番 (073)

○総務調整課 総務調整G 488-1366

入札契約G 488-1705

○用 地 課 488-1752

○管理保全第一課 道路管理G 488-5771

道路保全G 488-5205

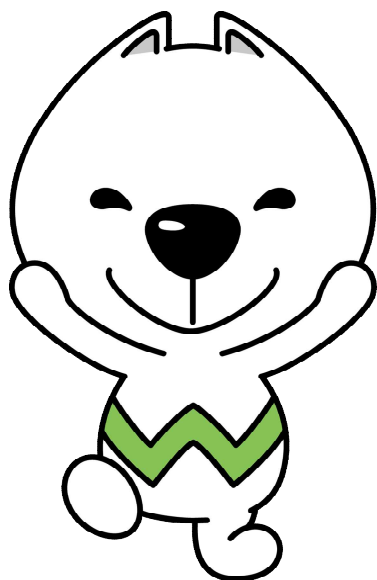
○管理保全第二課 河川管理G 488-6163

河川保全G 488-5441

○工 務 課 道路G 488-5083

治水G 488-5032

○街路公園課 488-2445



海南工事事務所

〒642-0017 海南市南赤坂 19

電話.073-483-4824 Fax.073-483-4890